

A	優	良
B	良	好
C	課	題 含
D	要	改 善

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】			
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成			
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	老人福祉法や川西市の条例に従い、健康や生きがいづくりに関する講座などを開催しました。そして、17グループある趣味の会の活動支援を通じて、市内の60歳以上の方々を対象に健康の増進、教養の向上を図りました。 また、ウイズ・アフターコロナに向けた新たな段階への移行が進む中、グループ活動等の日程や時間調整を柔軟に行い、施設を最大限に有効活用しました。	A	施設設置の目的に沿って、体操や囲碁など心身の健康増進、教養の向上など施設を最大限に活用できるよう対応しています。	意見なし			
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	初回利用時には、身分証明書を提示していただき、年齢と川西市在住の確認を行い、施設利用と登録について詳しく説明を行いました。 また、趣味の会の入会希望者の場合、新規利用であるか確認を行い、新規であれば上記の手続きを行いました。	A	初回利用時や趣味の会入会希望時に、身分証明書を確認するなど、適切に対応しています。	意見なし			
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	自主事業については、市の広報誌に掲載するとともに、チラシを作成し、直接利用者に案内して参加の呼びかけを行いました。 令和4年度は、年間を通して制限なく主催事業が実施できたため、主催事業の利用者数は令和3年度から約2倍近く増加しました。	A	利用者増加につながるよう市の広報誌を活用しPRを行うなど、施設の周知広報活動を行っています。	意見なし			
< 課題 >		新規登録者は25名で、そのうち19名が女性です。新規登録者は減少しており、特に新規男性登録者は少ないです。 日々の利用についても、60歳代男性は少ない状況です。		利用者の高齢化や新規利用者の減少が課題となっています。	若い世代(60歳代)の利用増に向けて、難しい点はあるが改善を行うこと。			
< 改善内容 >		新型コロナウイルス感染拡大防止策に取り組みながら、令和4年度は閉館や自主事業の中止、利用人数の制限等を行わない通常の利用を実施することができたので、利用者増につながりました。特に、定期講座・教室の参加人数は令和3年度に比べて約2倍近くになりました。 また、継続して内部監査が行われ法令遵守に努めています。		引き続き感染予防対策を行いながら、広報活動を行い利用者の増加を図る必要があります。	意見なし			
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況			
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	主な個人利用者は、スカイウエル(電位治療器)、マッサージ機や血圧測定の利用者です。 17グループある趣味の会は、囲碁や将棋、カラオケなどの文化的なものから、卓球、体操など体育的なものなど多岐にわたり、高齢者の健康の増進、教養の向上が図られました。	A	健康機器の設置を通じて、健康増進を図る場として適切に機能しています。 さらに多様な趣味グループの活動支援を通じて、利用者の教養向上を図る場として有効に機能しています。	意見なし			
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	利用者の健康志向のニーズに応えた「ピラティス」や「健康体操」を継続して開催することができ、多くの参加者がありました。令和4年度は利用制限がなく実施できたので、参加者数は令和3年度と比べて約2倍近くになりました。 また、個人利用で卓球を定期的にされていたグループに声をかけ、趣味の会「Tクラブ」としての立ち上げを支援しました。	A	利用者のニーズに応え、講座の開催を行っています。 また、趣味の会立ち上げを支援するといった、利用者増加への工夫も見られます。	意見なし			
< 課題 >		コロナ感染症対策が緩やかに変化していく中で、利用者数は前年度比7.7%増となりましたが、地域の高齢化に伴い、利用者の高齢化が進み、趣味の会グループの会員数が減少傾向にあります。 新規利用者の確保が課題です。		高齢化の影響で趣味の会グループの会員数が減少傾向にあります。60代の新規利用者を確保する必要があります。	意見なし			
< 改善内容 >		評判の良かった定期講座を継続して開催することで要望に応えるとともに利用者増に繋がるよう努めました。 また、児童センターとの併設の特徴を生かし、児童センターのクリスマス等の季節行事に高齢者が参加し、世代間交流を図りました。		高齢者のニーズに応えた講座の開催ができています。施設の特徴を生かした行事を開催するなど、施設利用の促進への工夫が見られます。	意見なし			

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度	
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	3月13日～25日の延べ11日間、個人利用やグループ活動等で来館された方々に無作為でアンケート調査を実施しました。また、新たに定期講座参加者にもアンケート調査を実施しました。	A	毎年定期的にアンケート調査を行い、利用者のニーズ把握に努めています。		意見なし
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	B	アンケートでは「気持ち良く利用出来た」「仲間との交流が増えて楽しい」等のお声をいただきました。引き続き利用者から信頼され、楽しんでいただける施設運営を行っています。なお、「老人福祉センターがなくなるのは残念」「コロナ禍が終息に向かいつつある中、種々の事業を復活してほしい」という意見がありました。	B	アンケートでは、施設に対する高い満足度が記載されるなど、良好なサービス提供体制が見られます。		意見なし
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	定期講座「健康体操」が非常に良いため、月1回の開催から月2回にしてみたいというご意見を参加者有志10名からいただきました。講師謝礼予算のこともあり現段階でご要望にお答えするのは難しい状況をお伝えし、その上で趣味の会グループとしての立ち上げを提案しました。	A	要望に対して迅速に対応し、解決策を提案するなど、利用者の信頼・満足につながる適切な対応がされています。		意見なし
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	日常から利用者には声掛けを行い、コミュニケーションをとることで、利用者のご意見を引出すよう努めています。また、意見箱を設置していますが、投函はありませんでした。	A	日頃から利用者とのコミュニケーションをとり、利用者の意見やニーズの把握に努められています。		意見なし
サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	趣味の会グループの会合や懇親会に場所を提供し、地域活動の場所として利用していただきました。	A	講座等のみならず、地域の団体と連携するなど、地域の活動拠点としての取り組みができています。		意見なし
< 課題 >		コロナ禍で令和2年度から4年度の3年間「敬老のつどい」「カラオケ大会」の事業が中止となりました。利用者も楽しみにされていますので、感染状況をみながら開催を検討する必要があります。		新型コロナウイルス感染症の影響で高齢者の生きがいや健康作りの場の減少が懸念されます。		意見なし
< 改善内容 >		趣味の会の施設使用許可申請を従来の3カ月毎(年4回)から年度毎(年1回)に変更し、利用者の負担軽減につなげました。また、市により障がい者用トイレを多目的トイレに改修していただき、おむつ交換台も設置され、一般の避難所としても誰でも使いやすいトイレになりました。		利用者の負担軽減を図ることや、トイレの仕様を変更するなど利用者の満足度を上げる取り組みが評価できます。		意見なし
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減	
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	水道光熱費については、年間を通じて職員各自が意識して節減に取り組んでいます。利用者がいない時間は、常に部屋の照明を消し冷暖房を入れないようにしています。また、利用者に対しても趣旨を説明したうえで、退室時の消灯や空調のスイッチを切るなどの協力をお願いしています。	A	経費の削減に対して、職員のみならず、無理のない範囲で利用者の協力を得ながら積極的に取り組んでいます。		意見なし
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	職員は、常に経費の節減を意識して、修理や物品購入時は、相見積もりにより安価な業者に依頼しています。	A	経理規定に沿い、修繕や高額商品購入の際は相見積もりをとるなど適切に対応されています。また、消耗品などの購入も安価な業者に依頼するなど徹底しています。		意見なし
< 課題 >		建物は38年が経過し、老朽化が進行しています。今後は、修繕箇所が増加が見込まれます。安全面など、必要に応じて川西市と協議しながら改修等に取り組めます。		修繕については、適切な施設管理の中で問題点を把握し、計画的に進める必要があります。		建物の老朽化はしているが、メンテナンスを行い安全に使用できるように管理できている。
< 改善内容 >		電動付き自転車を買入れでメンテナンスし、近距離の移動は自転車を使用し、価格が高騰したガソリン代の節減に努めました。また、軽微な修繕(水道蛇口のパッキン交換、駐車場チェーンの新調等)は職員で対応しました。空調機ドレンの詰まり修繕や消防用設備等修繕は相見積もりにより安価な業者に委託しました。なお、女子トイレのトイレトーパーがなくなることが多い時期があったため、各個室に管理表を貼って管理するようにし、使用量の把握および消失の予防に努めました。		交通手段の代用や、職員での修繕対応など、経費の削減に工夫が見られます。修繕を業者に委託する際は、引き続き予算の範囲内で対応をお願いします。また、消耗品の使用量の把握など、職員各自でできる範囲の経費削減の取り組みをこれからもお願いします。		意見なし

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】			
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
(2-2) 収入の増加	評価なし		評価なし		(2-2) 収入の増加	
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。						
収入の増加など取り組みの効果は得られたか。						
< 課 題 >						
< 改善内容 >						
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし		評価なし		(2-3) 収支のバランスなど	
収支のバランスは、適切であったか。						
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。						
収支の内容に不適切な点はなかったか。						
< 課 題 >						
< 改善内容 >						
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況	
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	所長(児童センターと兼務)1人、事務員(児童センター兼務)1人の2名が配置されています。 事故防止や安全面、事務事業を円滑に運営するため、併設の児童センターとの連携・協力を行っています。	A	併設のメリットを生かし、児童センターと協力しながら業務に取り組んでいます。	意見なし	
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	市主催の新任職員研修、兵庫県社協福祉人材センター主催の会計実務基礎研修、子どもの虐待研修、社協職員研修を受講し業務に活かしました。 また、防火管理者再講習・新規講習を受講しました。	A	施設の特性に応じた内部研修の他、利用者対応に必要な講座に参加するなど積極的に取り組んでいます。	意見なし	
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	修繕や物品購入については、相見積もりを取り、安価な業者を選んでいます。また、年に1回利用者アンケートを取り、サービスの質の向上に努めました。 また、季節に応じた感染症予防や食中毒予防、熱中症対策などのポスターを掲示し、健康に関する注意喚起を行いました。	A	常に経費削減に意識を置かれている中で、利用者への配慮も行われています。	意見なし	
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	新型コロナ感染症対策の変化の中、センターの来館者記録用紙や趣味の会出席簿の様式を変更しました。 また、フードドライブの食品持ち込み施設として、地域から個人1名、法人1団体より食品を受け取りました。	A	社会情勢の変化に合わせて、利用者の視点に立った運営が必要です。今後も利用者本位を維持しながら良好な運営管理に努めてください。	意見なし	
< 課 題 >		事故防止や円滑な施設運営のため、児童センター職員と常に相互に連携し業務を行うことが必要です。		併設施設と連携をとりながら、サービス提供の質が低下しないよう配慮しつつ、より柔軟な人員配置に努めてください。	意見なし	
< 改善内容 >		会計実務基礎研修、子どもの虐待研修、社協職員研修を受講し業務に活かしました。 また、防火管理者再講習を受講し、防火管理者の資格要件を解消することができました。		施設間の相互協力を通じて、利用者満足度の維持向上に努めてください。	意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など			
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回利用されるときに、身分証明書で利用条件に合っているか確認し、登録していただいています。 また、内部監査の報告を職員で共有し、改善に努めています。	A	身分証などで本人確認を実施するなど、適切な手続きがとられています。また、内部監査の報告を職員で共有するなど、適切に取り組んでいます。	意見なし			
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報に関しては、施錠できるロッカーに保管し、外部への持ち出しを一切禁止しています。	A	個人情報を鍵付き書庫への保管を徹底するなど、適切に取り組んでいます。	意見なし			
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	転倒防止のため、廊下など動線上に障がい物を置かないよう、常に気を付けています。 併設施設の児童に1階の部屋を開放している時に利用者と児童の出会いがしらの衝突など事故を防止するため、声掛けと見守りを行っています。	A	子どもや高齢者などの利用者の特性に配慮し、注意喚起を行うなど、安全対策の徹底に取り組んでいます。	意見なし			
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	閉館後や休日の警備は、警備会社に委託しています。火災時の避難、誘導、通報、消火訓練を年2回実施しています。また、防火管理者再講習、新規講習を各1名ずつ受講し、防火管理者の資格要件を解消できました。 また、暫定駐車場を施錠する金具が紛失したため、警察へ届け出るとともに防犯性の高いものに交換しました。	A	休日夜間などの警備は専門業者に委託し、火災訓練は利用者と一緒に取り組むなど、適切な危機管理体制をとっています。	意見なし			
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時(ケガや体調不良)、非常災害時対応のマニュアル、新型コロナウイルス感染症対策の通知等も回覧し、職員が情報を共有しています。また、消防訓練を年2回、利用者に協力いただき実施し、非常災害時に備えています。地震発生時対応マニュアルも新たに作成しました。	A	様々な場面を想定した対応マニュアルを整備されている他、職員で情報共有を行うなどリスク管理に努めています。	意見なし			
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	個人で卓球の練習をされたい利用者には、電話にて当日予約を取ってもらいご利用いただいています。また、個人の健康器具利用は、20分で交代するよう、タイマーで電源の設定を行っています。	A	日程調整やタイマーでの健康器具対策など、利用の平等性に配慮した対応がとられています。	意見なし			
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平かつ適切に実施したか。		非該当		-	-			
< 課 題 >	受電設備について、経年劣化により電気設備に関する技術基準等に適合しない箇所があると委託業者から報告を受けて、市にも報告しています。 災害・事故を防ぐためにも改修が必要です。		高齢者と児童が利用するという施設の特性を考慮すると、今後も事故防止への意識付けが必要になります。		施設の経年劣化に対して、常に点検を行うなど安全面に配慮をしていくこと。			
< 改善内容 >	地震発生時対応マニュアルを整えました。また、防火管理者の再講習および新規講習を職員各1名ずつ受講し、防火管理者の資格要件が解消されました。 年に一度、社協本部によって法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用などの監査を受け、問題があればその都度改善し、適正に施設運営を行っています。		マニュアルの整備や資格要件の解消など、課題の改善に向けた取り組みがなされています。		意見なし			

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価ランク	A			A		
・評価できる内容	ニーズの高い主催事業を継続することにより利用者の健康増進につなげました。 新たに個人の卓球利用者を支援することによっての趣味の会「Tクラブ」の立ち上げができました。 コロナ禍で中断していた世代間交流も、併設の児童センターの事業のなかで高齢者に協力してもらう内容を盛り込むという形で、再開することができました。		利用者のニーズを把握し運営が続けられています。また、趣味の会立ち上げ支援や世代間交流を開催するなど、利用者の生きがいづくりの場を提供することができています。		意見なし	
・令和4年度に改善した内容	趣味の会の施設使用許可申請を従来の3カ月毎(年4回)から年度毎(年1回)に変更しました。 また、市により障がい者用トイレを多目的トイレに改修されました。		引き続き、利用者や趣味の会の利便性向上のため、柔軟な対応をお願いします。		意見なし	
・令和4年度に改善したことによる効果	施設使用許可申請書の提出回数を減らすことで、趣味の会代表者の負担軽減に繋がるとともに事務の効率化にも繋がりました。申請を1回に変更したことによって、不都合は出てきていません。 多目的トイレについては、おむつ台も設置されたので、併設の児童センター利用の保護者からも好評です。		引き続き、日頃から利用者とのコミュニケーションをとり、利用者の意見やニーズを把握し、サービスの向上に努めてください。		意見なし	
・問題があり次年度以降改善が必要な点	令和4年度はあらたに発足した趣味の会グループがありました。年度更新の際に解散となった趣味の会グループも発生するなど、趣味の会が活動しやすいように引き続き支援し、利用者増につなげる必要があります。また、マッサージ器、スカイウエルや血圧計の利用者も固定化しており新規利用者が少ない状況です。 受電設備は、設置から22～27年経過しており、技術基準に適しない事項があり、災害・事故を未然に防ぐためにも改修の必要があります。		高齢者が関心ある講座・教室等を開催し、利用者の増加に努めてください。		60歳代の特に男性の利用者を増やす策を練るといのは、時代の変化を勘案すれば平日の17時までの利用といのは物理的に難しいと感じる。	
・改善方法とその時期	高齢者が関心のある講座・教室などを引き続き開催し、受講後にグループ活動化を提案し支援することで利用人数の増加を図ります。 受電設備については、令和5年度で市により改修予定です。		大規模な修繕工事については、優先順位を決めたうえで、計画的な修繕が可能となるように、日頃から不具合箇所の適切な把握に努めるとともに、適宜市と協議しながら検討をお願いします。		意見なし	

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。